

## 2級 楽典

## 【問1】音程

したの譜例で指定された2音間の音程を「○オクターブと○度」のかたちで書き、単音程に直したものと、その転回音程をそれぞれ書きなさい。

(1) ①と② (2) ①と③ (3) ④と⑤

[音程] (1) オクターブと 度 (2) オクターブと 度 (3) オクターブと 度

[単音程] (1) 度 (2) 度 (3) 度

[転回音程] (1) 度 (2) 度 (3) 度

## 【問2】休符

アには全休符か二分休符が入る。正しい形で譜例に書き込みなさい。

## 【問3】楽曲理解

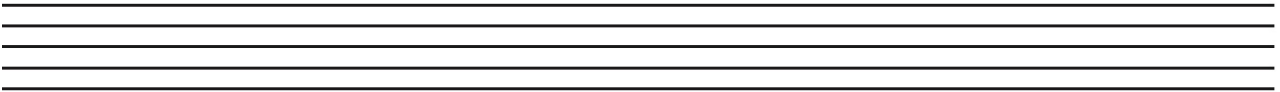
うへの譜例はピアノ独奏曲の一部である。説明として、正しいものには○を、誤っているものには×を付けなさい。

1. 実際に演奏する際、1小節目の付点二分音符は2小節目の全音符より長い。( )
2. 最後の小節の和音は、長三和音である。( )
3. 静かに終わる部分であり、終曲と考えられる。( )
4. おそらくダンパー・ペダルが使用され、中段は左手で演奏される。( )

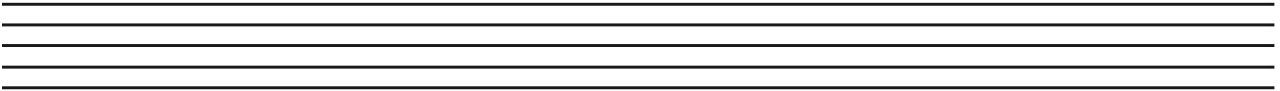
【問4】音階・旋法

つぎに指示された音階や旋法を全音符でかきなさい。なお、音部記号と複縦線を記入し、旋律短音階は上行形をかくこと。

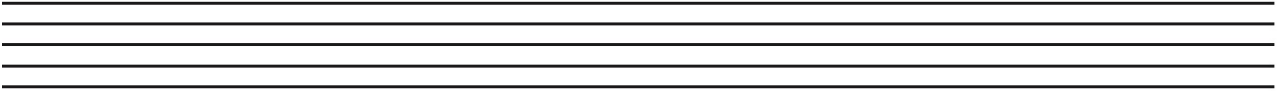
- ① B（変口音）からはじまる全音音階、高音部譜表、臨時記号を用いて

A set of four horizontal lines for handwriting practice, representing a treble clef staff.

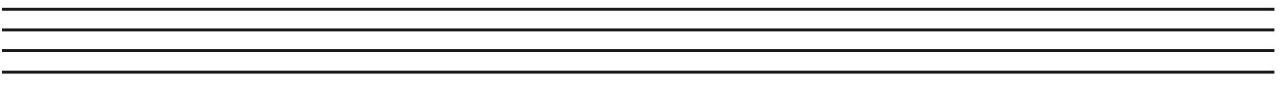
- ② ト短調（g-Moll）の平行調、低音部譜表、調号を用いて

A set of four horizontal lines for handwriting practice, representing a bass clef staff.

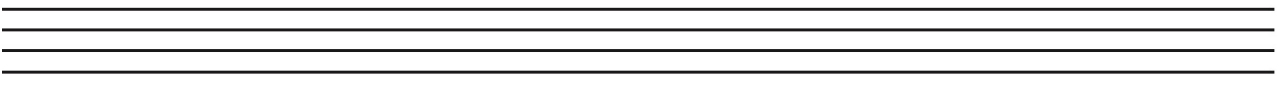
- ③ C（ハ音）からはじまるドリア旋法、高音部譜表、臨時記号を用いて

A set of four horizontal lines for handwriting practice, representing a treble clef staff.

- ④ Dis（嬰二音）を導音とする旋律短音階、低音部譜表、調号を用いずに

A set of four horizontal lines for handwriting practice, representing a bass clef staff.

- ⑤ F-Dur（へ長調）と同じ属七の和音をもつ和声短音階、高音部譜表、調号を用いて

A set of four horizontal lines for handwriting practice, representing a treble clef staff.

【問5】和音

したの譜例は、ピアノとチェロのための作品の抜粋である。枠で囲った和音の名称をそれぞれ答えなさい。（例：長三和音 長七の和音）

Violoncello

Piano

ア

イ

ア                      和音                      イ                      和音

【問6】音部譜表・移調

うえの譜例のチェロのパートを完全5度下に移調し、へ音譜表上に調号を用いずに書きなさい。なお、強弱記号などもすべて書き写し、楽譜として完成させること。

【問7】調判定

うえの譜例の前半2小節の調を答えなさい。

(                      調)

【問8】音楽知識

一般的な調弦のチェロの最低音を、へ音記号を用いて全音符で書きなさい。